

知的障害教育領域コース

科目区分	授業科目	開設単位数		要修得 単位数
		前期	後期	
基礎理論に関する科目	特別支援教育概論	②		2
心理、生理及び 病理に関する科目	大脳生理・病理概論	2		8
	知的障害者の心理・生理	②		
	知的障害アセスメント論Ⅰ	②		
	知的障害アセスメント論Ⅱ		2	
	肢体不自由者の心理・生理		②	
教育課程及び 指導法に関する科目	病弱者の心理・生理	②		13
	知的障害教育課程論	②		
	知的障害指導法論	②		
	肢体不自由教育論	②		
	病弱教育論	②		
知・肢・病以外の領域 に関する科目	視覚障害教育概論		①	13
	聴覚障害教育概論		①	
	LD等教育概論	②		
	重複障害教育概論	①		
	特別支援教育支援技術概論		2	
発展科目	特別支援教育臨床演習		2	2
	知的障害キャリア教育演習		2	
教育実習	教育実習		③	3
特別研究	特別研究基礎演習Ⅰ	①		4
	特別研究基礎演習Ⅱ		①	
	特別研究		②	
計				30

特別支援教育コーディネーターコース

科目区分		授業科目	開設単位数		要修得単位数	
			前期	後期	必修	選択
必修科目		特別支援教育論	2		14	
		特別支援教育コーディネーター論	2			
		コミュニケーション障害教育方法論		2		
		重複障害教育方法論	2			
		LD等教育方法論		2		
		特別支援教育研究Ⅰ	1			
		特別支援教育研究Ⅱ		1		
	特別支援教育特別研究		2			
選択必修科目	視覚障害 教育領域	視覚障害教育方法論Ⅰ	2		6	10
		視覚障害教育方法論Ⅱ		2		
		視覚障害診断・評価法		2		
	聴覚障害 教育領域	聴覚障害教育方法論Ⅰ	2			
		聴覚障害教育方法論Ⅱ		2		
		聴覚障害診断・評価法		2		
	知的障害 教育領域	知的障害教育方法論Ⅰ	2			
		知的障害教育方法論Ⅱ		2		
		知的障害診断・評価法	2			
	選択科目	肢体不自由教育方法論	2			
病弱教育方法論			2			
発展科目	特別支援教育コーディネーター臨床演習		2			
	特別支援教育ファシリテーション演習	2				
計						30

(令和7年度入試の場合)

年間授業料 273,900円



電子メール: dsh@hiroshima-u.ac.jp

特別支援教育に携わりたいあなたへ

広島大学には、

とくせん
「**特専**」があります。
(特別支援教育の1年課程)



特別支援教育特別専攻科 説明会

● 事前申込み不要



広島大学特別支援教育特別専攻科
Special Course of Special Needs Education, Hiroshima University

広島大学特別支援教育特別専攻科の概要

広大 特別専攻科 概要

https://dsh.hiroshima-u.ac.jp/special_course.html



特別支援教育特別専攻科(特専)とは？

「1年間」で、特別支援教育の学習を行い、**「特別支援学校教諭」(一種または専修)の免許状**が取得できるコースです。

広島大学の特専の特徴は？

知的障害教育領域コース

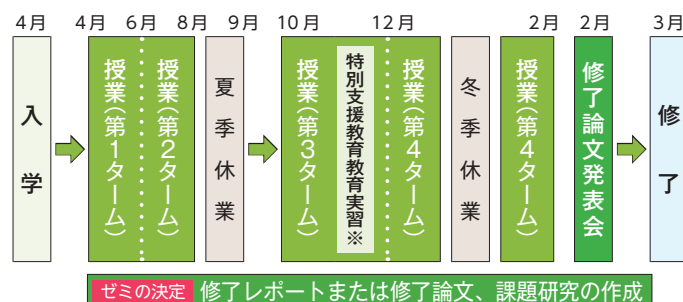
と

特別支援教育コーディネーターコース

の

二つのコースが設けられています。
入学定員は、両コース合わせて **30名**です。

特別専攻科の1年の流れは？



出願資格は？

知的障害教育領域コース

四年制大学卒業者(見込み者を含みます)で、幼稚園・小学校・中学校・高等学校の教諭の普通免許状取得者(見込み者を含みます)となっています。現在、大学在学中で、卒業後にさらに特別支援教育を学んで専門性を身につけたいあなたにピッタリのコースです。

特別支援教育コーディネーターコース

特別支援学校教諭一種免許状を取得している方となっています。さらに特別支援教育の専門性を高めてみたいあなたにピッタリのコースです。

取得できる免許状は？

知的障害教育領域コース

特別支援学校教諭一種免許状

(知的障害者・肢体不自由者・病弱者に関する教育の領域)が取得できます。

特別支援教育コーディネーターコース

入学時に有している**特別支援学校教諭一種免許状の領域**(視覚障害者・聴覚障害者・知的障害者に関する教育の領域)の**専修免許状**が取得できます。さらに、上記のいずれかの領域に加えて、入学時に肢体不自由者または病弱者に関する教育の領域の一種免許状を有している場合には、それらの領域の専修免許状も取得できます。

どんなことを学ぶの？

知的障害教育領域コース

特別支援学校教諭一種免許状の取得に必要な「基礎理論」、「心理・生理及び病理」、「教育課程及び指導法」、「教育実習」の学習に加えて、「発展科目」の学習や「修了レポートまたは修了論文」の作成があります。

特に、「発展科目」は、上記の開設科目に加えて、さらに学びを深めるために、発達障害のある児童生徒の学びを支えるタブレット端末の活用、視覚障害のある児童生徒の眼鏡型エイドや、肢体不自由のある児童生徒のスイッチ、視線入力によるPC操作などの支援技術に関する演習を取り入れた実践的な科目で構成されています。また、附属特別支援教育実践センターでの教育相談活動にも参加することができます。

特別支援教育コーディネーターコース

特別支援学校教諭専修免許状の取得に向けて、必修科目、選択科目、発展科目が用意されています。修了論文の作成もあります。発展科目として、特別支援教育の現場で活躍するためのファシリテーション演習なども用意されています。

特別専攻科 学生の声

知的障害教育領域コース学生

■大学を卒業後、放課後児童クラブに勤務していました。配慮や支援を必要とする子どもと出会い、関わり合っていくうちに特別支援教育について学びたいと強く思うようになり、特別専攻科に進学しました。専攻科の授業で学んだり、教育相談や教育実習で実際に子どもと交流したりするなかで、一人一人が持っている素敵な部分を育てていくことが大切であると改めて感じました。教職に就き、是非、実践していきたいと思っています。

特別支援教育コーディネーターコース学生

■特別支援学校(知的障害)で勤務するなかで、地域支援を担当する特別支援教育コーディネーターに興味をもち受験しました。このコースの魅力は、専門的・実践的な考え方や知識を得ることができることです。授業では、テーマに基づき調査・発表し、協議することが多くありました。自分の考えを論理的に整理し、簡潔明瞭にまとめ、わかりやすく伝える力も高まりました。とても短く感じる1年間ですが、「私、成長した!」と感じています。